

学識ヒアリングの実施について

1. これまでの報告事項・経過

たたき台の作成・骨子案の作成過程において、有識者の専門分野に絞って助言をうける

■ 選定にあたっての考え方

- 本市のまちづくりに精通している者
- 教育や福祉等、個別の専門分野を持つ者

■ 現時点での候補（候補者には未接触）

- 本市の附属機関の委員から、分野にバラつきがないよう 10 名程度を選定予定
（第 5 次総計時の委員構成を基に構成）
都市計画、環境、教育、子育て、健康、防災、コミュニティ、経営、福祉

庁内照会を行い、附属機関の委員から候補者の推薦を受けた

当該候補者・トーマツからの提案をもとに 10 名の学識を選出（副市長レク済）

各委員の内諾済み

分野	氏名	所属等
子育て	岡田 忠克	関西大学 人間健康学部 教授
教育	平良 伸哉	大阪芸術大学 初等芸術教育学科 特任教授
DX	阿多 信吾	大阪公立大学大学院 情報学研究科 教授
福祉	松端 克文	武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 教授
環境	藤田 香	近畿大学 総合社会学部総合社会学科 教授
PR・観光	足立 基浩	和歌山大学 経済学部 教授
住民協働	久 隆浩	近畿大学 総合社会学部総合社会学科 教授
防災	河田 慈人	関西国際大学 高等教育研究開発センター 講師
行財政	関下 弘樹	和歌山大学 経済学部 准教授
都市計画	嘉名 光市	大阪公立大学 大学院工学研究科教授

2. スケジュール・ヒアリングの進め方

■ スケジュール

9月～10月中旬	各学識と日程調整のうえ訪問・Web 会議により聴取した内容のまとめ
11月頃	各課ヒアやアンケート結果とともにコーディネーターの意見聴取
12月中	将来都市像の決定

■ ヒアリングの進め方

1 本市に関する基礎資料の提示

総合計画・創発プランの進行管理資料、人口ビジョン、調査報告書（資料2）



2 意見聴取

上記資料等により本市の現状を確認いただきながら、本市の各分野の今後の方向性や、優先的に取り組むべき施策の整理に関する意見をいただく。